阿知須町広報

発行所　阿知須町役場
山口県吉敷郡阿知須町
発行　広報委員会
編集　広報委員会事務局
印刷所　森重印刷所

東条　貯水槽　送水管

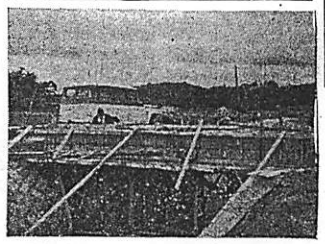
敷設工事完成近し

木床橋は5月11日に完成予定

難局にたつ町財政は、あらゆる経費を節減し一日も早く再建をしなければならない実状であるが、しかし施政方針（前月号広報掲載）の如く産業の振興、町民の福祉増進は一日もこれをゆるがせには出来い。木床橋の復旧、又東條貯水槽送水管敷設工事も然り。

木床橋は鉄筋コンクリート床版橋で、総工費二五四、〇〇〇円（うち国庫負担3分ノ2、町負担3分ノ1）で四月十日着工、五月十一日竣功を目指し着々工事を進渉しつつあるが、長サ6メートル、有効巾員3メートル、巾3・4メートルのこの橋が出来上ると木床方面の農耕者等に非常なる利便をもたらすことになる。

また、町単独工事である東條貯水槽からの送水管敷設工事も、寸刻を争う緊急事態に備えて図の如くマンホールまで一一四・六メートルを五十七本のヒューム管（内径一五センチ）で連結、消火作業の能率を最大限に至らしめるための工事である。



（写真上右は敷設工事。同左は送水管敷設平面略図。下は完成間近の木床橋。）

一人当り一円で

養老院にテレビを贈ろう

孤独の身で、余生を中央養老院で送つておられる七十二名の不幸な老人達は、娯楽や慰安にも恵まれず、日常の生活は極めて単調で無味乾燥な日々を過しておられる実情は全く同情にたえません。

私達が今、こうして平和で且つ幸福な毎日を送り得ることは、今は老いたる人達の尊い努力に外ならんと思いますが、その一員たるこれら老人達にせめてその奉仕に対する万分の一でもお返しをして余生を楽しく送つてもらおうではありませんか!!

現在、県下の各養老院ではテレビが殆んど設備されているが、これは全てその管内の人々の拠出または篤志家の寄附等により購われたものです。

・ついては、中央養老院関係の各町が申合せ、これら不幸な老人達に心の潤いを与えるために、皆様方の尊い浮財をあおぎ、テレビ一台を贈ることになりましたので、御理解のある御協力をお願致いします。

なお、募金額は、住民一人当り一円とし、五月末日まで区長さんにてまとめていただき、町社会課へ御持参願います。

第四回町民運動会は本月下旬開催の予定です。

子供の幸福を念願して

井関小学校長　西村春雄

新緑の候と相成りましたが、阿知須町の皆様方には益々御清祥のことと御慶び申し上げます。

さて、不肖私は、今回の年度末定期異動で、はからずも井関小学校長を命ぜられました西村でございます。

顧りみれば、昭和二十一年三月、終戦直後の、あの混乱を極めた年から、昭和三十年三月まで九カ年間、阿知須小学校教頭として、大変御世話様になり、それから吉佐教育事務所に四カ年勤務、夢にまで阿知須町の教え児のことばかり見ましたこの懐しい阿知須町へ再び参りました。

このことは前世からの因縁だと心から有難く感謝しています。

風光明媚にして、人情味豊かな阿知須町こそは、私の終生忘れ得ぬ第二の故郷だと存じます。今はあたたかい母の懐に帰つて来たような気持で一杯です。

まことに浅学菲才不束者ではございますが、職責の重大さを今更の如く痛感しています。微力ながら新たなる決意のもとに、献身子供の幸福のために精進したいと念願しておりますので何卒よろしく御指導、御鞭撻下さるようお願い申し上げます。

時勢は相当変つて来ましたが、幸い教育優先の阿知須町の方針は毫も変つてはいないのであります。

皆様御承知の如く、教育は学校、家庭、社会の三者が真に一体となり、緊密な連絡をとり、理解と協力があつてこそ、はじめてその徹底を期することが出来るのであります。着任いたしました以上は、藤井前校長の御意志を充分受継ぎ、全職員が一致協力いたしまして、より温い愛情と熱意とをもつて学校教育の充実進展のために全力を尽し、もつて皆様の御期待に応うべく努力することをお誓い致します。

ついては、町当局、町議会、町教育委員会、親師会その他町民の皆様方の尚一層の御協力、御支援方伏してお願い申し上げまして、着任の御挨拶といたします

健全な校風の樹立を

阿知須小学校長　高杉信義

私こと今回の異動によりまして、阿知須小学校に勤務することになりました。

由来錦地は、教育に対して深い御理解と御熱情をおもちのところであり、また聞いております。また、前白木校長先生は人格識見ともにすぐれた方で、教育実績を大いにあげていらつしやるのであります。

生来浅学菲才で、しかも錦地に不案内な私が、この大先輩の後を受け継いで更に発展させなければならない大務を果たし得るかどうか憂慮しているものであります。しかし一たん命を受けました以上は、駑馬に鞭打ちまして最善の努力を致す覚悟であります。

どうぞ格別の御厚誼と御指導を賜わりますよう御願いを申し上げます。

最近の科学の進歩、文化の発展と国際社会のすう勢におもいをいたしますときわが国の青少年教育は人間尊重の精神を基調とし、全人形成をめざして一段と充実強化することが必要と思います。

学校経営につきましては本校の伝統を尊重しつつ、またこれまで歩ゆんで来た道を謙虚に反省し検討を加え、私たち教育者に課せられました使命の重大さをいつそう自覚して、人格の修養と実力の向上につとめ、心身ともに雄健な児童の育成に当りたいと思います。

また、運営に当りましては、校長を中心として全職員の親和と協力により、また、家庭、地域の方々と密接な連けいのもとに、児童に望ましい人間関係を育て調和と統一のとれた教育活動を展開して、いつそう健全な校風の樹立につとめて行きたいと思います。

紙上で失礼ではございますが、着任の御挨拶を申し上げます。

× × × × × ×

参院選挙

投票日は6月2日

告示は5月7日に

参議院議員選挙も六月二日行なわれますが

▼選挙人名簿からおちているもの。

▼34年5月15日で満二十年に達したもの。（昭和14年5月16日までの出生者）

▼2月15日から5月15日まで引き続き本町に住所を有するもの。

以上三つのうち、何れかに該当する方は、今回の選挙には申請なくしては当町には選挙権はありませんから次の期日及び期間を熟読され、補充名簿に登載すべき申請を是非して下さい。

調整現在期日	5月15日
申請期間	5月16日から5月20日まで
調整期限	5月21日から5月23日まで
縦覧及び異議申立期間	5月24日から5月27日まで
異議決定期限	5月29日
確定期日	5月30日

古い殻を破る力

（結婚改善）

私には今年十九才になる娘の子と二十四才の息子がある。全くアレヨアレヨと云つてる間に私もいいオヤジになつてしまつて程なくおぢいちやんとして孫を膝に乗せるときがくるであろう。私は自分の顔を鏡にうつしてつく〴〵眺めて見るとナル程小ジワが多くなりやつぱり年はとつているなあと思う。気は何時までも二十台の若い気でいるからいろんな因習や見栄に対して若い人と同様な反撥を感じているのだが、娘はもうそろ〳〵嫁に出さなくてはならぬし、息子にも嫁を迎えねばなるまいと考える年になつた。

何処には今日は嫁入りだ彼処には公民館結婚だそうなと結婚シーズンともなれば嫁サンの話しで持ち切りだが、自分の身にもそろそろ順番が廻つて来るとなるとそう無関心でもいられなくなるので、ツイ話しに耳を傾ける。ところがなかには随分と進歩的な家庭もあるが、驚く程旧態依然とした考え方の家庭が多い。

私は隣部落のある一人息子の婚礼を見に行つた。一人息子と云つても姉や兄は戦前に結婚しているのだが……。公民館結婚で諸事簡単にやれる世の中にこれはまた何と見栄を張つた婚礼であつたことか、私は唖然として早々に引揚げた。タンスやミシン・鏡台等のいわゆる嫁入道具がズラリ所せましとばかり飾られ、その前にこれ見よがしに引受なる人物が鼻高々と（そう見えたはヒガミか）モーニング姿で坐つていた。ちようど花嫁さんの方のお客様が座についたところでお給仕が五〜六人盛装して茶菓を出すところであつたが、後で聞けば儀式がすんで茶菓が別にまた改めて出され膳部も豪奢を極めたおびただしい料理であつたとか。料理人も雇い二日に亘る宴会では随分と飲み食いに冗費を使つたことであろう。

その後私はこの家の内情や親類関係を聞いて、その息子さん即ち花ムコに同情を禁じ得なかつたのであるが、若い人は非常に割切つた考えを持つていることである。結婚式は公民館結婚で簡素にやりたい、そして飲み食いの冗費は二人の新しい生活や再生産資材に使いたいし、また嫁入道具の不急なものはやめて貯金通帳として持つて行きたい等考えているのだが、その人達を取りまく親や親類がそれをやらせないそうである。つまり一生一度のことだからとか、家のメンツとかで借金までして結婚式をやるような愚かな古い考え方を親達に捨てて貰いたいものであるが、それよりも若い人達に若い力、若い考え方で斯うした古い因習を打破する勇気を持つて貰いたいことである。

恋愛か見合か何れにしても結婚する事になつた二人の間で充分話合つて周囲の人に誠意をもつてやれば必ず理解を得られるものだ。

結婚の簡素化は誰も必要だと考えているのに実行出来ないのは、仲人をする人にも罪はあるが、見栄と因習に捉われ過ぎているからで、改善は部落の申合せや公民館の音頭だけでは駄目である。若い人達の特にこれから結婚する人達の力強い意志によつてこそはじめて出来ることであると私は信じている。

私の娘は嫁入道具の多少よりも貯金通帳で、しかも公民館結婚を喜んでくれる人にやりたいし、娘の最も愛する人であることも勿論である。同様に息子の嫁も息子の最も愛する人でしかも健康な体一つで来てくれる嫁であり、結婚改善に理解のある家庭から貰いたいと思う。

私の息子も娘もはつきりと割切つた考えを持つていることを私は誇としているし、私もまた理解ある親であることによつて子供達に報いたいと思つている。

〔農業　四八才〕

5月は軽自動車税の納期です

〔昨年は納めたが本年は令書が届かない方へ〕

固定資産税の免税点引上げで

固定資産税の免税点は昨年迄はその者が所有する固定資産の評価額が、土地については『一万円』であつたが、本年は『二万円』に、家屋についても『一万円』が『三万円』に、また、償資産は『十万円』が『十五万円』と各々引上げられたため、本町の免税該当者数は昨年の一九一名であつたのが、今年は三三二名増え計五二三名となつております。したがつて、税法改正のため、この三三二名の方は昨年は令書が届きましたが、今年は納税義務の消滅により、令書は作成いたしませんので御了承を。

農協通常総会迫る

来る5月9日阿小講堂で

戦後、農業会に代つて新しく農業協同組合という農民の自主的団体が生れてから十年の歳月が過ぎたが、その間、激しい経済変動にも耐え、苦しい山や坂を乗り越えて、ひたすら組合事業の発展向上に努力が重ねられた。

しかし、こうしたなかにあつて、真に組合員の組合としての充分な基礎を固め組合組織たる本来の任務を発揮し得たか、過去の姿をよく反省し、更に事業発展のため「農協刷新三ヵ年拡充計画」なる運動が進められることになり、丁度本年はその最終年度でいわば計画総仕上げとしての大事な年とも云えます。

来る五月九日午後一時から、組合員の最高意志を決める通常総会が阿知須小学校で開催の運びとなつた。

当日は、過去一年間の実績や新しい年度において進めるべき重要な議案が審議される外、理事（十二人）監事（三人）の改選が行なわれるのであるから、組合員一人残らずこの総会に出席し「決算事項」や「事業計画」について活潑な質疑や討論が重ねられ、よりよき事業進展のため尽力されねばならぬ。

かくしてこそ、総会が組合員の意志を集結する場であり、決議が組合員の総意であるならば、今後農家経済発展と安定の前に横たわる諸問題も、我々の総力によつて容易に打開し得るものと信じています。

なお、総会の前後には余興として、芸能人数名によつて、浪曲・漫才や舞踊などの熱演が行なわれることになつています。

〔当日の提出議案は事業報告、事業計画等十一件について〕

法定伝染病患者は 是非 指定病院に入院を

これからさきは、伝染病の発生に絶好な時期となりますが、万一伝染病に罹られた際は、医師を通じて直ちに町へ連絡され、所定の伝染病棟に入院される様注意して下さい。

これまで数件発生しましたが、殆んど患者は指定外の病院に入院され、町に立替金の請求をされますが、町も色々事務上の都合からして支払迄相当の期間を要するので、結局は入院患者に対し迷惑をかけることになります。また入院費等も相当の差異があり、出来る限り郡伝染病組合指定の小郡第一病院に入院されるようお願いします。

（註）地区外伝染病棟であつたら、患者が治療代金を一応立替えなければならないが、指定病棟ではその必要はありません

日赤社員を募集

一日から一ケ月間 赤十字運動始まる

地震・水害・火災など天災地変のために苦しむ人々に救護物資や慰問品を贈るなど罹災者の救恤につとめ、在外同胞の引揚促進、看護婦の養成、医療機関に恵まれない地域の巡回診療等これら日本赤十字社の事業資金は、終戦後一時的な便法として赤十字募金によつて毎年五月全国一斉に行なわれて来ました。

ところが、昭和二十七年八月、日本赤十字社法という法律が制定されたとき、赤十字の事業資金が不安定であつては、事業を押し進めて行く上に支障を来たすから、世界各国の赤十字と同じように、財源は赤十字社員が負担することをたてまえとした正常なる姿に早く立ちかえるようにと、昭和二十八年以来は、社員募集と、赤十字運動として実施して参りました。

しかし、両者併行では種々の支障があるので、昨年から、全国足並みを揃えて社員制度一本で進むことになつたのであります。

本年度の本町の目標額は昨年と同額の七万八千七百余円です。殊に本年は〃赤十字の父〃アンリー・デュナンが赤十時の必要を思いついてから百年目にあたる重要な意義をもつ年でありますので、何卒この主旨に御賛同下さいまして、世界の恒久平和と、人類の福祉に貢献しようではありませんか。

(子)(供)(の)(結)(核)

子供の結核は、県の統計によれば、春から夏にかけて多発しています。

原因は、はじめて学校という広い社会に入る新入学児童や、新高校生が進学準備などで、心身共に疲労していることにあるようです。結核は自覚症状が殆んどないのでお家の方は、特にお子さまの体の様子に気を配つて下さい。早く見つけて早く治すことが肝要です。

十二日は乳児検診日です（毎月第二火曜日）

「短歌」四月作品 （順不同）

兼重　きぬ
使い残りし大根一つ庭隅の炭俵の中にとう伸びており

河崎　幾代
山鳩の羽ばたき飛べるその後の春の落葉のしきりなる林

河野　英子
麦の穂のまばらなる畠を眺めつつ車窓に我は人想い居る

芦浦　孝男
商売の豊かならねど一日を花見の酒に酔うて唄いぬ

大野　絹枝
軒の下に板張りし杉伐り取りて明るき窓に雲を仰ぎぬ

是枝　英雄
昨日より位置かえ椨の漂ふも心にしみて池の辺を過ぐ

県議会議員選挙

選擧区で最高を記録

投票率 88.76%

県下九十五万有権者の民意を表示する県議会議員一般選挙は、四月二十三日遂に断が下された。

当日は絶好の快晴に恵まれ、本町でも、午前七時サイレン吹鳴と同時に投票を開始、続々と清き一票が投ぜられ、はや正午には六〇%に達し、かつてない投票率を予想され、締切二時間前には前回の投票率七八・一五%に達し、期待を裏切らず、当選挙区最高を、県下でも上位に入る八八・七六%を記録した。

午後七時半、五候補の運命を決する秘箱は遂に封切られた。

結局、定数二名に対し五候補者と相当の激戦が展開されたが、大内を地盤とした重宗武夫氏、小郡を基盤とした久富間吾氏が、四年間の県政における吉敷郡有権者の代弁者と決定した。

なお、当日の本町投票率及び各候補者得票数は、

有権者	男	二、五三〇
	女	二、八八八
	計	五、四一八
投票者	男	二、二二六
	女	二、五八三
	計	四、八〇九
投票率	男	八七・九八%
	女	八九・四四%
	計	八八・七六%

各候補者得票数（ ）は阿知須町得票数

当	重宗武夫	六、二八二	（一四六）
当	久富間吾	五、九四五	（八三八）
次	内田 馨	五、一二二	（八六五）
	中尾岩雄	四、一五六	（二、五八八）
	西村義恵	三、〇四七	（三三一）

（写真　私達に代つて明るい県政を――本町第二投票所にて）

明朗で有意義な活動を

阿知須町連合青年団
団長　西村憲二

今回、団員各位の御推挙を、不肖私が団長に就任することになりました。

つきましては、各位の御支持に感謝致しますと共に一言抱負を述べたいと思います。

阿知須町連合青年団は、先輩諸賢の御力で創立以来の立派な伝統と、数々の輝かしい歴史をもつております。団員各位も一人々々が秀れた頭脳の持主であり、良き働き手であること、そして町内の方々から絶大なる信頼をよせられています。

これは我々の大きな誇りであります。このような立派な青年団の団長の席を汚すことは、私としても大変躊躇したのでありますが、各位の御援助が得られるならば、全力を尽す覚悟であります。

どんな団体、その団体が団体としての使命を果し得るかどうかは、組織している個人、即ち団員の気持ががつちり一致しているかどうかで決定するといつても過言ではないと思います。

団の運営はあくまで民主的に、理智的にすべての問題を処理する心構えが大切であると思います。また義理で団員になつている名ばかりの青年団でなくすために、私はまず、団員同志が、明朗で、有意義なる活動の出来る青年団でありたいと念願致しております。青年団という以上は団員の力で組織を守り、これを育てていかなければなりません。あくまで団員の立場で考え、且つ活動することにより、一層大きな効果が期待出来る。

以上のような問題を団活動の題目としてとりあげ、これが解決に積極的な活動を展開していくように思つています。

今後は各位の御支援と御鞭撻により職責を全うしたい所存であります。

引揚者給付金未請求者は早く手続を

（請求手続きの出来ない方には巡回相談所を）

政令により昭和三十二年八月から引揚者給付金の申請を受付けていますが、調査した該当者の数と比べると、なお多数の方が申請手続きをされていないように思われます。

申請の期限は昭和三十五年三月三十一日ですが、早く申請されれば、国債の交付もそれだけ早くなるわけです。

なお、引揚証明書及び在外事実を立証する資料がないため請求手続きが出来ない方も多々あるのではないかと思われます。

そこで、県社会課では次の日程により巡回相談会を開催しますので、御出席されますようお知らせ致します。日時・場所は、五月十五日午前十時から午後三時迄、宇部市役所三階会議室

合格おめでとう

三十四年度阿知須中学校卒業者のうち、高校合格者は次の通り、但し私立高校合格者内には県立合格者を含む。

なお、大学進学は者、現在まで判明せる分のみ掲載しましたので御了承を。

学校・氏名共、順不同
（ ）内は出身高校名。

宇部高校
（普通科）三好正夙、伊藤昌子、磯崎統夫、上林小枝子、佐藤直人、粟谷英子、大沢晴昌、辻田洋子、田中照久、縄田淑子、磯中睦子、中尾幸子、坂野真澄。
（家庭科）塩部悦子、下川静江、金重温子。

宇部工業高校
（機械科）河野恵宏、原田英雄。
（電気科）岩田秀夫
（化学科）金田令彦、森重進。
（採鉱科）国平郁夫、笹川勉

宇部商業高校
竹本義明、中尾信介、中本勲、古谷智、竹原正義、武永義和、長井義行、長田勉、松代光正、池本保、江村英世、中村宏一、又野孝夫、石地昭雄、上重二一、寺田昇、松代勝昭、林喜久代。

宇部農芸高校
林戡洋、辻岡泰造、下野清澄。

山口高校（普通科）
大門勲、岡村捷之、伊東清、川本陞洋、蔵岡茂登、重村

山口中央高校（普通科）
藤田洋子、斉藤日出子、岡村智子、西中泰子、中野幸江。

山口農業高校
（全日制）江本健治（林）、田辺健夫（土）、藤重秀登（畜）、片山六夫（土）、松永輝夫（農）、山本哲也（同）、西村透（同）。
（家庭科）田辺カネヱ、石川美代子、岡村美規江、松永節子、山野洋子。
（定時制）歌川信義（農）、辻田伴次（同）。
（同家庭科）水本きくえ、水本美恵子、下河節子、小野芳子。

厚狭高校（家庭科）
師井英子

小野田高校
（普通科）穐田伸男
（家庭科）大浜洋子、高井友江、川野誠子、玉川静江、新谷清子。

小野田工業高校
（化学科）中村幸治

水産高校
磯部敏雄（製）、渡辺清志（機）、縄吉均（漁）。

萩高校
白木靖夫

大津高校
沢田勝正

萩商工高校
大橋哲雄。

宇部市立高校
木原晃一、上野勝幸、叶谷武生。

鴻城高校
叶谷武生、兼田稔、上野勝幸、平野貞夫、国重幸雄、松崎宏克、弘中英治、芳野隆博、藤井弘剛、上田俊夫、藤友誠、大谷洋文、松重洋士、田中宜、宮重正彦、平野真、網田繁、弘重和夫、坂田義通、藤井健二、鈴木弘之、福本敬二、中野裕允、村藤晋爾、西村賢明。

多々良学園
梁元吉成

桜ガ丘高校
金木昭博

宇部学園
荒井慶子、松原百合子、坂田律子、兼重純子、明徳孝子、谷川花江、網田美代子、坂野文代、中野恵美子、福水須恵子、重村孝恵、村田瑞枝、古谷勝子、角反政子、真藤文子、福冨幸恵、松本光子、芥川千代子、門出艶子、江本厚子、沖永百合江、江本律喜子、沢見麗子、浜中勝子、蔵重礼子、上野和子、坂野靖子。

香川学園
末永和歌子、香川五十六、竹原洋子、山路淳子、戎谷秋江、藤川靖子、藤谷貞子、森重佐智代。

中村女子高校
工藤敏江、山本光代、福井貞子、石丸和子、伊藤康子、田辺節子、原田弘子、本永景子、岡村博美、中本八重子

野田学園
渡辺恵美子

PL高校（大阪）
縄谷春代

〜大学合格者〜

山口大学工学部　吉川征治（山口高）
同教育学部（山口高）、西村皎子（中央高）
山口女子短大　亀村和美（山口高）、部坂清子（中央高）
松山商大　兼重佳昭（山口高）
法政大学　河崎潤（山口高）
明治女子短大　新田貞子（中央高）
鈴ケ峰女子短大　村田悦子（宇部高）

十七夜祭近づく

薫風流れる五月の呼び物十七夜祭は、23日前夜祭を皮切りに下記の通り多彩にわたり行なわれるが、参拝人注視の的『山車』は今年は小古郷の担当で、目下当日の立役者となるべき準備が着々進められている。

5月23日　前夜祭
のど自慢コンクール（飛入り）

5月24日　御神幸
横みこし、生花展（場所未定）花火打揚　山車
管絃船（二隻）子供手踊

5月24日　豊見市

商工会大売出しは5月15日から24日まで玉替行事

広報は各戸一枚あてです、不足の場合は早急に御連絡下さい

本月は紙面の都合により「戸籍の窓」、「今月の農事メモ」は休載いたします。